

まさか本当に

こんなにジンベエザメが

群れているなんて「

そこには、

まるで巨大な生け簀の中に

大量のジンベエザメたちが

集められてしまったようにも見える。

あつちにも、こつちにも

巨大な背びれが

ゆつくりと移動しているの見える。

300 Whale Sharks

しかし、彼らは

自分の意思でここに集う。

自分で数えた訳ではないが、

空から調査した情報によると、

最高で300匹のジンベエザメが

一度に確認されている。

そんな海がまだあったなんて！

海つてまだまだ説明されていない

不思議な事でいっぱい！

水面に浮いて止まっている僕の目の前を何匹ものジンベエザメが交錯して泳ぎ去る。何なんだ、この海は！

300匹のジンベエザメが 群れる海

Mexco, Isla Mujeres

写真 = Takaji Ochi, Yohai Minoshima
文 = Takaji Ochi
イラスト = Shigehiko Iwata

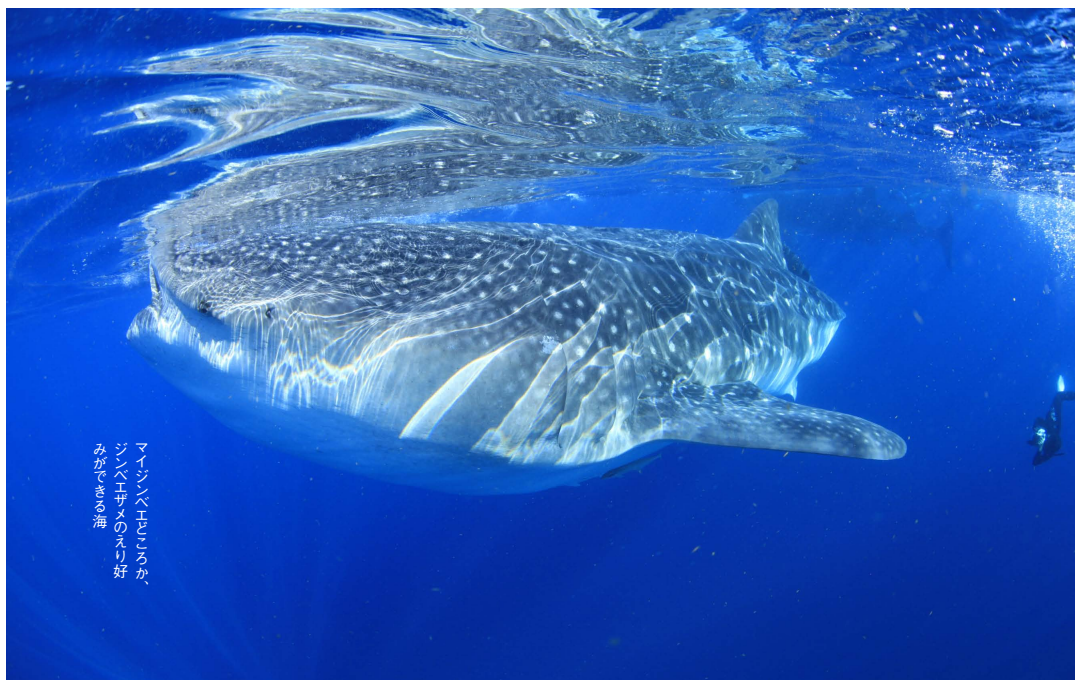
「**×** キシコ湾のカンクン沖で、300匹のジンベエザメが群れている!」。「フィッシュアイのレンズで自分撮りすると、背後に4匹のジンベエザメと一緒に写っている!」。「空撮するとまるでオタマジャクシのようにジンベエザメが群れているのがわかる!」。



そんな会話をしたのは、毎年ザトウクジラの撮影で訪れているトンガでの事。何度か同じ時期に訪れていて、知り合いとなったアメリカ人のカメラマンたちから写真や映像を実際に見せられて、そんな話をされれば、行かないわけにはいかないだろう。そう思い立つと、丁度タイミング良く、フロリダに住むニュージーランド人の友人カメ

まるで
おたまじゃくしみたいに
ジンベエザメが
群れていた

300
Whale Sharks
Mexico, Isla Mujeres



メインベエどころか、
ジンベエザメのえり好
みができる海



僕の家族（7歳と4
歳の息子たち）も、島
に滞在して一緒にジン
ベエ会いに出かけた

ラマンから、一緒に船をチャーターし撮影に行かないかと誘いを受けた。すでにいつのシーズンがベストであるかは情報を得ていた。そのタイミングで船をチャーターして、撮影に向かうことに決めた。

カンクンからフェリーに乗り、沖合にあるムヘーレス島へ。そう、ここは同年1月にバショウカジキの集団捕食シーンを撮影のために訪れた島だ。自分たちは、バショウカジキスイムでも船をチャーターした同じオペレーターに依頼して、船をチャーターし、ジンベエスイムを行なうことにしたのだ。



ネットで調べると、デイトリップの船がカンクンからも沢山出ている。しかし、いつも思うのは、デイトリップの船では、運が良ければそんなに人が乗船していなくて、好きにできるのかもしれないが、大抵の場合、現場にいさせてくれる時間も短く、自分たちが望む程、撮影に積極的に協力してくれない場合が多い。もちろん、「一目見たい」だけであれば、デイトリップでも十分だと思うけど。

なので、僕はチャーターを前提にしているわけだ。他に気にするゲストもないし、特に撮影を重視して船を出してくれる。僕らの目的を理解してくれている。通常のデイトリップでは、現地にいるのは2時間程度、おまけに一度に2名のゲストとガイド1名しか入水できない決まりがある。

現地にいるのが2時間程度で、2名しか入れないとすると、何人かのゲストが交代で入っていると、たいした時間海の中にいることはできない。それがチャーターとなると、一番先に海に出て、一番最後まで現場にいてくれる。

300匹のジンベエザメが群れる海

WEB-LUE 2012. Winter [Whale Shark]



Information Link
<http://takaji-ochi.com>

◀ 関連情報HPへ



ずっと海にいた、長男は、この日40匹以上のジンベエザメを目撃したと喜んでいたら、もう同じ個体の中にはいたと思ひと



捕食の瞬間を激写。こんな撮影も周囲に人が入らず撮影できる

300 Whale Sharks Mexico, Isla Mujeres



01 エラの中から口は見えるのかなと接近を試みたて覗いてみたけど、見えなかった
02 船上から近くに来たジンベエザメを見て喜ぶ息子たち。こんなに大きいのに、まったく怖がらずに海に入って行ったことに驚いた
03 船に近づく、何匹ものジンベエザメがこんな感じで口を開くクサッとした感じが近づくにつれて

いまいちで50、
まあまあで100!?

今回、ベストの時期に3日間の日程で訪れた。船のキャプテンに、「ここ数日間はどうだったの?」と訪ねると、「2日前はいまいちだったな。昨日はまあまあだったよ」との返事。ちょっと不安になりながら、「そのいまいちとまあまあで、ジンベエザメは何匹くらいいたの?」とさらに質問を続けると、「いまいちの日が50匹くらい、昨日のまあまあで100匹くらいかな」。

「……いまいちで50! まあまあで100!?!」自分は何度もその言葉と意味を頭の中で反芻していた。にわかに想像がつかない。「いまいちで50! まあまあで100! じゃあ、今日は?」「今日の方が潮回りの、悪く無いはずだから、もっと増えると思うよ。200とか300とか」キャプテンは、それが当然の事のように自信満々に答えた。

こんなすごい海なのに、何故あまり日本では知られていなかったのかと訪ねると、以前はもっと透明度の悪い湾内でのジンベエザメが主流だったのだそう。それが、ここ数年、そう4〜5年ほど前に外洋でジンベエザメが集団で群れて捕食しているのが発見されたのだ。湾で探すよりも、広範囲のために、見つけるのが至難の業ではあるのだが、一度見つけてしまえば、無線を聞きつけたデイトリップのボートが大挙して訪れる。それでも、文句が出ないのは、十分な数のジンベエザメがいるからだ。

自分のジンベエザメに対する常識からは、あまりに現実離れた数字を提示され、半信半疑で外洋へと船を出した。



300匹のジンベエザメが群れる海

WEB-LUE 2012. Winter [Whale Shark]



Information Link
<http://takaji-ochi.com>

関連情報HPへ

300 Whale Sharks Mexican Mujeres

前から来た2匹の撮影に
夢中になっていたけど、
周囲を5匹のジンベエザメに
囲まれていた。
(撮影：宮下洋平)

300匹のジンベエザメが群れる海

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

WEB-LUE 2012. Winter [Whale Shark]



Information Link
<http://takaji-ochi.com>

◀ 300 関連情報HPへ

べた風の海を船は軽快に進んでいった。何も見えない海を走り回ること1時間ちょっと。何も無いよなと思っていたが、彼らはどうやら昨日ジンベエザメを目撃したエリアを中心に捜索を行っていたようだ。突然捜索担当のガイドが「あそこだ! あそこにいる!」と前方を指差した。

「いたのか!」と目を凝らす。自分たちにはまだ確認ができない。しかし、少しづつボートが前進するに連れて、水面を蠢く背びれと尾びれが見えて来た。「いた!」最初は1匹のジンベエザメでさえ感動していた。それもそのはず、こんなだっぴろい外洋で何の目印も無く、ジンベエザメを発見できたのだから、それだけでも感動モノだ。

しかし……「1匹、2匹、あ、3匹! 4匹、5匹! 6匹! 7、8、10、11、12、13、14……30、31、32、33、34、35匹!」

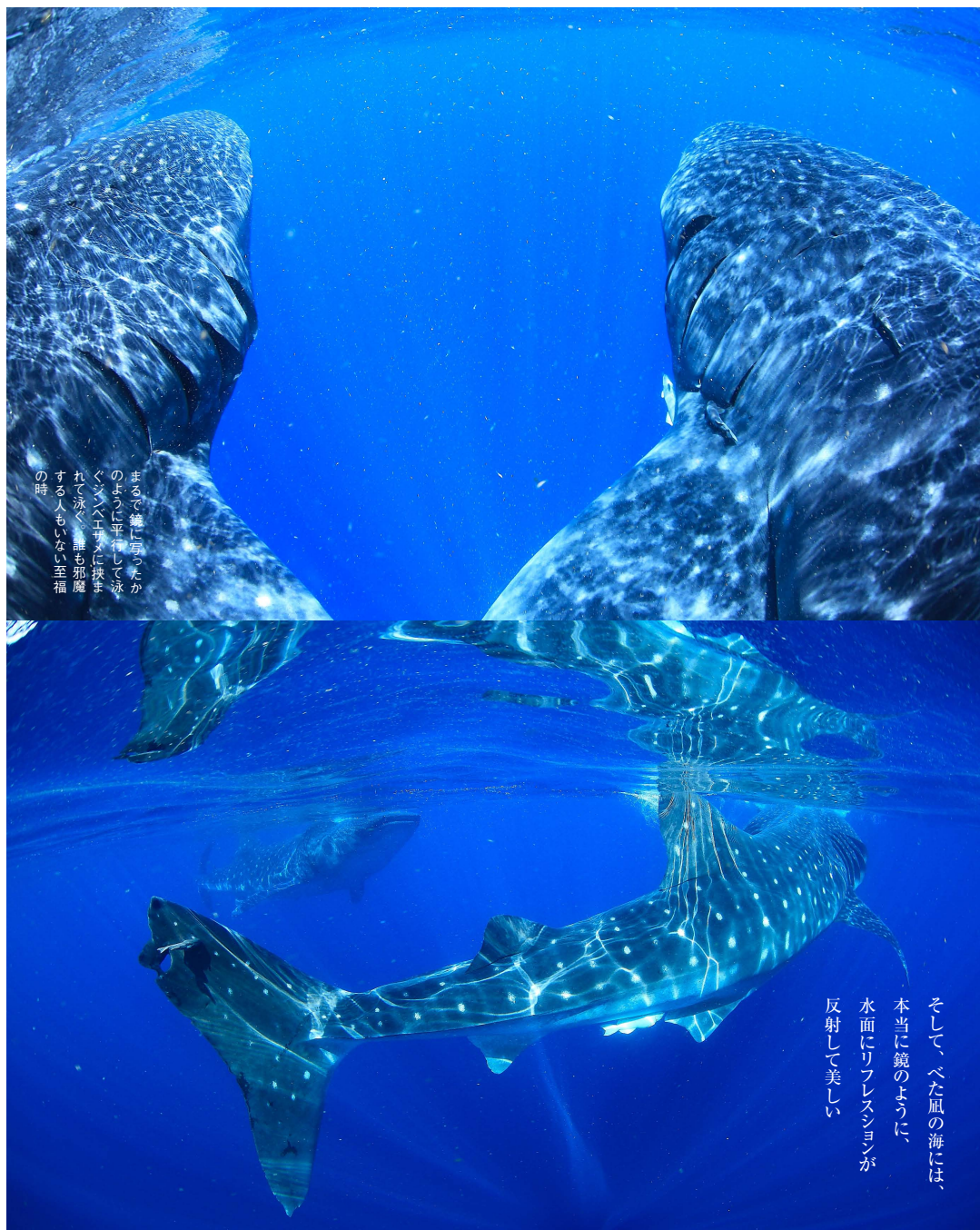
自分でその位置から目視できる背びれの数で少なくとも35匹は確認できた。それ以上は動き回っているから正確には数え切れない。

「なんじゃこりゃ!

これほどとは思わなかった!」それが正直な感想だった。当惑しながらも、もう顔はにやけて緩みっぱなし。しかし、慌てて準備して入る必要は無い。キャプテンが、「一番ジンベエ密度の高そうな場所に行くから、そこで泳げばいいよ」と余裕を見せる。

要するに「ジンベエザメのえり好み」だ。そんな贅沢な事があるだろうか。はやる気持ちを押えて、キャプテンの指示を待つ。「よし、この辺でいいだろう」

一番ジンベエ密度の高い場所で泳ごう



キャプテンのその一言を待っていたように、皆が準備を始める。しかし、一緒に来たメンバーが結構冷静なタイプの奴ばかりだったので、お互いジンベエザメを目の前にして、エントリーを譲り合っているのが滑稽だった。

水 中に入ると、想像していた以上に透明度が高い。プランクトンを捕食しているわけだから、確かに浮遊物はあるがさすがに外洋の海。ジンベエザメを見る環境としては、個人的にはマーシャル諸島でジンベエザメを何度も目撃した時の次くらいに透明度は高い。20m以上は抜けている感じだ。だから、遠くからジンベエザメが来るのもそれなりに確認できる。つまり、視界に何匹ものジンベエザメを確認できるということだ。

追いかける必要はほとんどない。ジンベエザメが行ってしまっても、次のジンベエザメが右から左から、前から後ろから、そして斜めからやってくるのだ。

最初は興奮して撮影していたけど、徐々にこの環境に慣れてきて、他の人の心配をするようになる。「お〜いい〜、こっちから2匹行くよ〜!」「後ろから3匹続けて来てるよ〜!」そんな風に声を掛け合いながら、撮影を続けた。

時には、一緒に乗船した仲間と、水面に顔を出してジンベエザメが何度も行き過ぎるなかで雑談を交わすようになる。

300
Whale Sharks
Mexico, Isla Mujeres

300匹のジンベエザメが群れる海

WEB-LUE 2012. Winter [Whale Shark]



Information Link
<http://takaji-ochi.com>

◀ 300 関連情報HPへ

300

Whale Sharks
Mexico, Isla Mujeres

追いかけても、
海に浮いて待っているだけでも、
こんな美味しい状況に何度も遭遇できる。
しかも、後ろにもジンベエ！

300匹のジンベエザメが群れる海

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

WEB-LUE 2012. Winter [Whale Shark]



Information Link
<http://takaji-ochi.com>

関連情報HPへ



残念だったのは、
こんな風にジンベエザメの背びれが
スクリーンで刻まれてしまっている個体が
目についたこと

ダイビングはできない
けど、素潜りで下から
の撮影はオケだ



「今日はかなり良かったな。300匹はい
たんじゃないか」そういうキャプテ
ンの言葉に「good, better, bestで言うど
んな感じ?」と訪ねると「まあ better だね。
Bestの時はもっと凄いや」……一体どんな
に凄んだ。



ジンベエザメの撮影は、個人的にはど
ちらかと言えば退屈だった。ジンベエ
ザメの動きとかにもよるのだけど、マンタの
撮影の方が好きだったりする。この日もう
1日で満足かな。とか思いながら引き上げた
のだけど、ホテルに戻ってから、他の人の
写真を見せてもらって、「こんな撮影の仕方
もあったのか〜」とか「お、そう撮るか、じゃ
あ、オレは明日はこう撮ってみよう」とさらに
イメージーションが沸き上がり、結局1日で

は物足りなくなってくる。カメラマンというも
のに、満足と言う言葉はない。いつまでも、
何度でも、撮りたいのだ。

それに、翌日には、べた風の状態から、
少し波がある感じになって、水面に
浮遊していたプランクトンがかき混ぜられて、
沈殿していたためか、ジンベエザメたちも少
し水深を取って捕食していた。つまり、昨日
は上方からの撮影が困難だったが今回は
上からの撮影が可能だったわけだ。

結局、3日間、ジンベエ三昧で帰国
したが、画像データを見直してい
て、「あ〜もうちょっとこんな感じで撮影でき
たよな」とか「これいいちだったな」とか
納得の行く写真がなかなか撮れていなくて、
結局後悔している。

それでも
1日では足りない



01 海が穏やかなので
小さな子供たちを連
れている船も目立っ
02 ムヘレスのチャ
ーターボートが発着
する桟橋
03 ムヘレス島の繁華
街にはレストランと
みやげ屋さんが並ぶ
04 カラフルな色彩の
お店がいっぱいで、可
愛い
05 白砂のビーチは観
光客で賑わう

そんな事もあり、2012年も4日間の
チャーターを2回、行なうことにした。



乗船人数は、6人限定。現地費用は宿泊、ポート
代込みで、約20万円を予定。

基本は現地集合現地解散で、もし参加したいとい
う方は、info@web-lue.com にご連絡頂くか WEB-LUE の
INQUIRY のお問い合わせフォームから、あるいは INTO
THE BLUE よりお申し込み下さい。

2012年ジンベエスイム ボートチャーター予定

2012年7月22日～25日の4日間

2012年8月1日～4日の4日間

※ベストは8月の4日間の方

ジンベエスイムについて問い合わせる

クリックでメールフォームが開きます

300匹のジンベエザメが群れる海

WEB-LUE 2012. Winter [Whale Shark]



Information Link
<http://takaji-ochi.com>

関連情報HPへ